

【問い合わせ先】

下里水路観測所
所長 橋本 友寿
電話 0735-58-0084



令和3年8月10日
第五管区海上保安本部
下里水路観測所

海図150周年を記念した一般公開

令和3年は、日本が海図作成のための近代的水路業務を開始して150年目にあたります。

下里水路観測所では、この海図150周年を記念して施設の公開を行います。（見学無料・要事前申込）

また、夜には天体望遠鏡などを使用して秋の月や星空の観望会を開きます。

1. 日時

令和3年9月18日（土）

（1）昼の部 午後4時から午後5時まで

（2）夜の部 午後8時から午後9時まで

2. 場所

下里水路観測所 〒649-5142和歌山県東牟婁郡那智勝浦町下里1981

（詳細なアクセスは別紙をご覧ください）

3. 実施内容

（1）昼の部 下里水路観測所の施設公開・パネル展示等

（2）夜の部 人工衛星レーザー測距観測の実演・月や星空の観望

4. お申し込みについて

・受付期間 9月13日（月）から9月17日（金）までの
午前9時から午後5時まで

・申込方法 電話：0735-58-0084
※受付時に代表者氏名、人数等を伺います

・対象者 新型コロナウイルス感染防止のため、
和歌山県新宮市、那智勝浦町、串本町、太地町、古座川町、北山村、
三重県熊野市、御浜町、紀宝町在住の先着15名とさせていただきます
（人数に達した時点で締め切らせていただきます）

また、高校生以下の方は保護者同伴での参加をお願いします

・注意事項 昼の部・夜の部のいずれかのみでの参加に限らせていただきます

5. その他

（1）駐車整理にご協力いただく場合がございます

（2）施設周辺に売店や自動販売機はありません（必要な方は各自でお持ちください）

（3）観測所敷地内は全面禁煙となるほか、危険物やペットの持込もご遠慮ください

（4）マスクの着用、手指消毒をお願いします（消毒液は当観測所にあります）

（5）当日から過去2週間以内に体調不良があった方は、お断りすることがあります

（6）取材を希望される報道関係者は事前にお問い合わせください

○「海図150周年」について

日本沿岸の安全を図るための海図作りを使命として、旧暦の明治4年（1871年）7月28日に海上保安庁海洋情報部の前身である兵部省海軍部水路局が設置され、日本が単独で、近代的技術をもって海洋調査から海図作成までを一貫して行う本格的な水路業務を開始し、明治5年（1872年）に海図第1号「陸中國釜石港之圖^{りくちゆうのくにかまいしこうのず}」を刊行しました。

昭和46年（1971年）には、水路局創立100周年を記念して旧暦の7月28日を現在使用されている暦に換算した9月12日を水路記念日として制定しています。

そして、令和3年に近代的水路業務を開始してから150周年を迎えました。

○下里水路観測所について

船舶の航行に必要な情報を収集するため昭和29年（1954年）に設立されました。当初は地磁気観測や天体観測を行っていましたが、現在は人工衛星を標的としてレーザー光を用いた測量「人工衛星レーザー測距観測」を行っています。

○アクセス（参考図）



第五管区海上保安本部下里水路観測所

和歌山県東牟婁郡那智勝浦町下里1981

(TEL) 0735-58-0084

下里水路観測所HP

<https://www1.kaiho.mlit.go.jp/KOHO/simosato/j/>